

ジェンダー研究と社会デザインの現在

萩原なつ子 監修 萩原ゼミ博士の会 著 森田系太郎 編

ジェンダー研究をテーマとしたさまざまな専門分野の執筆者による論考集。日本のジェンダー問題、さらには社会問題に一石を投じる一冊です。

第1部「多様なジェンダー研究」では各執筆者が自治体、医師、環境、フクシマ、AIをそれぞれ〈ジェンダー〉の視点から分析。第2部「社会デザイン研究の試み」は、マス・メディア、在宅医療、大学教育、留学生、信託等の問題から、日本の〈社会デザイン〉の問題に取り組む論考を収載します。



◆目次

【第1部】多様なジェンダー研究

- 第1章「地方自治体における女性の視点に基づく政策形成の持続可能性に関する考察 ～消滅可能性都市の指摘を契機に政策転換を行った豊島区の『その後』を事例として～」(相藤巨)
- 第2章「子育て女性医師のキャリア形成とジェンダー構造」(内藤真弓)
- 第3章「日本のエコフェミニズムの40年——第一波から第四波まで——」(森田系太郎)
- 第4章「環境とジェンダー ～原発事故によって奪われた言葉、女性たちの抵抗～」(菊地 栄)
- 第5章「ジェンダー平等なAI社会をデザインするには」(佐野敦子)

【第2部】社会デザイン研究の試み

- 第6章「ベビーホテル問題とマス・メディア」(浅野麻由)
- 第7章「在宅医療の場が問いかける医師の役割 ～『治せない』患者についての在宅医の語りからの考察～」(景山晶子)
- 第8章「大学教育と社会デザイン」(安齋 徹)
- 第9章「留学生の定住・定着と社会デザイン——“居場所感”のフレームワーク——」(原田麻里子)
- 第10章「公益信託法の見直しに関する一考察 信託の法律効果について」(藤井純一) ほか

◆監修者略歴

萩原 なつ子 (はぎわら なつこ)

立教大学社会学部・教授／大学院 21 世紀社会デザイン研究科・教授。(公財)トヨタ財団アソシエイト・プログラム・オフィサー、宮城県環境生活部次長、武蔵工業大学環境情報学部・助教授等を経て現職。(特非)(認定 NPO 法人)日本 NPO センター・代表理事。専門分野は環境社会学、非営利活動論、ジェンダー論。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	萩原なつ子・監修 萩原ゼミ博士の会・著 森田系太郎・編 ジェンダー研究と社会デザインの現在 270頁/A5判/ソフトカバー 定価 2500円(税別) ISBN:978-4-86693-570-6 C3036
ご注文は、JRCへ FAX:03-3294-2177(TEL:03-5283-2230) 株式会社 JRC 経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		